

国際規格の動向—国際会議に出席して—

須賀茂雄

IEC/TC104（環境条件、分類及び試験方法） Web 会議

【MT16】

開催日：2020 年 9 月 28 日～29 日

参加国：アメリカ・スウェーデン・ドイツ・中国・日本

5ヶ国 16 名

当社に関係する審議について報告する。

(1) IEC 60068-2-11(塩水噴霧試験方法)edition 4

プロジェクトリーダーの須賀より CDV 投票の結果を説明し、試験機の再現性確認の規定や試験前の性能確認について議論した。修正を加えた後、FDISに進める。

(2) IEC 60068-2-60(混合ガス流腐食試験)

須賀より、作業者の安全を考え、試験ガスに関する警告の追加と操作手順についての見直しを提案した。賛否の意見があったため、次回会議にて再度議論する。

次回は、2021 年 10 月にスウェーデンにて開催予定。

【MT18】

開催日：2020 年 9 月 30 日

参加国：アメリカ・スウェーデン・ドイツ・中国・日本

5ヶ国 13 名

当社に関係する審議について報告する。

(1) IEC 60068-2-5（地上レベルでの擬似太陽光線放射

及び太陽光線放射試験と耐候試験の指針）

CIE 85 改定に伴う IEC 60068-2-5 の変更について当社喜多より説明し、Stability date を 2025 年とし、それまでに検討することとなった。

次回は、2021 年 10 月に Web と対面で同時開催予定。

【IEC/TC104】

開催日：2020 年 10 月 2 日

参加国：アメリカ・スウェーデン・フィンランド・ドイツ・スイス・

イラン・中国・日本 8ヶ国 27 名

ISO/TC156 にリエゾンを依頼し、須賀に liaisons officer を依頼することを決定した。

次回は、2021 年 9 月にドイツにて開催予定。

ISO/TC107（金属及び無機質被膜） Web 会議

開催日：2020 年 9 月 15 日

参加国：スウェーデン・フィンランド・オランダ・ドイツ・イギリス・

中国・韓国・日本 8ヶ国 47 名

SC7(腐食試験)は議長を伊藤勲氏、国際幹事を須賀が務めており、伊藤議長より SC7 の審議状況について報告があった。

(1) ISO/CD 24284（凍結防止塩環境下の腐食試験）：韓国提案 CD 投票の結果、規格のタイトルの変更が承認され「Metallic coatings - Corrosion Test Method for Decorative Chrome Plating under De-icing Salt Environment」に変更された。DIS draft を準備し回送する(2021 年 1 月 DIS 投票開始)。

次回は、2021 年 9 月に Web 開催予定。

ISO/TC61（プラスチック） Web 会議

当社に関係する審議について報告する。

【SC6(耐候性)/WG2(光暴露)】

開催日:2020 年 10 月 5 日

参加国:アメリカ・イギリス・ドイツ・チェコ・インド・中国・韓国・

日本 8ヶ国 34 名

(1) ISO 4892-2（キセノンアーク試験）

改定作業を進めることが決定し、WD に対するコメントについて議論した。変更案の NC 投票を行い、DAmd に進める。

(2) CIE 85（太陽光の分光放射照度参照標準）

須賀より CIE 85 が廃止され CIE 241 となった旨の説明を行った。

(3) 韓国提案のプラズマ光源による試験は、特許の取り扱いで審議が進まず、再度 11 月 16 日に議論され、TS にするか CIB を行うことになった。

【SC6(耐候性)/WG3(諸暴露)】

開催日:2020 年 10 月 7 日

参加国:アメリカ・イギリス・ドイツ・フランス・中国・韓国・

チェコ・インド・日本 9ヶ国 20 名

(1) ISO/DIS 19721（人工芝の耐候性試験）

韓国提案の本案件は、特許の取り扱いや会議資料の不備により審議が進まず、再度 11 月 20 日に議論することになった。

11 月 20 日の会議では、試験データの説明に対し問題点や修正点の意見が出た。特許の使用条件について確認し、再度 2021 年 1 月 20 日に会議を開くことになった。

次回の ISO/TC61 は開催時期未定。

ISO/TC79/SC2(軽金属及び同合金) Web 会議

開催日:2020 年 10 月 21 日

参加国:イギリス・ドイツ・ポルトガル・中国・日本 5ヶ国

19 名

当社に関係する WG15 の審議について報告する。

(1) ISO/DIS 10074（硬質陽極酸化被膜）

往復平面摩耗試験のダブルストローク(DS)回数に関する議論があった。12 月 31 日までに FDIS を CS に送る。

(2) ISO 7599（陽極酸化被膜 - 一般規定）

日本より、耐摩耗性と耐腐食性を追加する提案のために試験データの説明を行った。すべてのデータを TR 化することになった。TR の NWIP を 3 月 31 日までに準備する。

(3) ISO 7668（20°,45°,60°及び 85°における陽極酸化被膜の鏡面反射及び鏡面光沢度の測定）

須賀より、表の中の数値に数ヶ所誤りがあり、修正が必要であると説明し承認された。須賀がプロジェクトリーダーとなり DIS から開始する。

次回の WG15、WG17 は ISO/TC79/SC2 会議に合わせて

開催予定。

WG17 のみ 2021 年 1 月に別に Web 会議を開催予定。

<ISO 規格発行までの手順>

PWI	Preliminary Work Item (Project)	予備段階
NP	New Proposal for a work item	提案段階
WD	Working Draft	作成段階
CD	Committee Draft	委員会段階
DIS [※]	Draft International Standard	照会段階
FDIS	Final Draft International Standard	承認段階
IS	International Standard	発行段階

※IEC では CDV : Committee Draft for Vote

NC	National Committee	国内委員会
DAmd	Draft Amendment	追補案
CS	Central Secretariat	中央事務局
TR	Technical Report	技術報告書
TC	Technical Committee	専門委員会
CIB	Committee Internal Balloting	委員会内投票
NWIP	New Work Item Proposal	新規提案